

教科(科目)	社会	総時数	140時間	学年(コース)	2学年
使用教科書	帝国書院『中学生の歴史〈日本の歩みと世界の動き〉』				
副教材等	正進社『歴史の資料』 文理『中学必修テキスト社会 歴史』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル(地域的・地球的)な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。 ②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。 ③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。 ②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。 ③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。 ④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。 ⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。

2 学習目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物や現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させる。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国際協調の精神を基に、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能 以上の観点を踏まえ、 ・授業態度 ・定期考査 ・週課題の取り組み などから総合的に評価します。	思考・判断・表現 以上の観点を踏まえ、 ・授業態度 ・定期考査 ・小テスト ・週課題の取り組み などから総合的に評価します。	主体的に学習に取り組む態度 以上の観点を踏まえ、 ・授業態度 ・定期考査 ・レポート ・週課題の取り組み などから総合的に評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点「A:十分に満足できる」「B:おおむね満足できる」「C:努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	歴史のとらえ方と調べ方 古代国家の成立と東アジア	歴史の流れと時代区分 人類の登場から文明の発生へ 東アジアの中の倭 中国にならった国家づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で歴史を学ぶ動機づけ、意味づけを行い、学習意欲を高める。 ・関心のある主題について、調べる計画を立てて調査し、まとめて発表する。 ・自分たちの祖先が、いつごろ現れ、どのような生活を送っていたのかを理解する。 ・日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに 	12	評価シート 提出物
5	古代国家の成立と東アジア 武家政権の成長と東アジア	展開する天皇・貴族の政治 武士の世の始まり 武家政権の内と外	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の古代国家の仕組みや農民の生活を理解するとともに、その変容について考える。 ・武士の世となり、日本社会がどのように変容したかを理解する。 	30	評価シート 定期考査 提出物
6					
7	武家政権の成長と東アジア 武家政権の展開と世界の動き	人々の結びつきが強まる社会 大航海によって結びつく世界 戦乱から全国統一へ 武士による全国支配の完成	<ul style="list-style-type: none"> ・町や村で自治的なしくみが生まれ、人々の生活がどのように変わっていったのかを考える。 ・戦国大名による全国統一事業が行われるなかで、日本社会がどのような変化をとげたかを理解する。 	36	評価シート 定期考査 提出物
8					
9					
10		天下泰平の世の中 社会の変化と幕府の対策	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の成立によって、安定した社会が生まれ、産業や交通が各地で発達した過程を理解する 	36	評価シート 定期考査 提出物
11	近代国家の歩みと国際社会	欧米諸国における「近代化」 開国と幕府の終わり 明治政府による「近代化」の始まり 近代国家への歩み 帝国主義と日本 アジアの強国の光と影 第1次世界大戦と民族独立の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命を背景とした欧米諸国のアジア進出のなかで、日本もその影響を強く受けるようになった事実を考える。 ・明治維新後、急速に近代化を進め、外国への進出をはかるようになっていったことを理解する。 ・二つの世界大戦の背景には、どのような政治や経済の動きがあったのかを理解する。 		
12	二度の世界大戦と日本				
1		高まるデモクラシーの意識 戦争に向かう世論 第二次世界大戦の惨禍 敗戦から立ち直る日本 世界の多極化と日本の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの世界大戦から、日本が何を学んだのかを考える。 ・新しい日本を作るために、どのような改革が行われたのかを理解する 	20	評価シート 定期考査 提出物
2	現在に続く日本と世界				
3		これからの日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦終結後、日本と世界はどのように変化したのかを理解する。 	6	評価シート 小テスト 提出物

7 課題・提出物等

- (1) 与えられた課題・提出物は期限までに必ず提出しましょう。
- (2) 長期休業中の課題・提出物は別途指示します。

8 担当者からの一言

定期考査の結果だけでなく、授業の参加の様子や課題への取り組み方などを総合的に見て評価します。望ましい学習態度をきちんと身に付けられるように努力しましょう。歴史の学習は、歴史の「流れ」をつかむことが大切だといわれています。教科書やノートをよく読み、原因・経過・結果などを理解するよう心がけましょう。また、問題集は繰り返し解くことで、知識の定着を図ることができます。
(担当：佐藤優之)

